

1 国語

学校番号	213
------	-----

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	4	年次	1
使用教科書	精選国語総合改訂版（三省堂）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） プレミアムカラー国語便覧（数研出版） 三訂版完全傍訳やさしくくわしい古典文法（尚文出版） 古文単語ゴロゴ プレミアム（スタディカンパニー）						

1 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・1年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。 ・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。 ・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。 ・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく内容や心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。 ・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。 ・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。 ・目的や場面に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。 ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。 ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。 ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場面に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	随想	ぐうぜん、うたがう、読書のススメ	○			◎		a: 筆者の心情や考え方を的確に読み取ろうとしている。 d: 筆者の考えについて関心を持ち、意見交流をして考えを深めている。	a: 記述の確認/ 定期考査 d: 行動の観察
	評論	言語は色眼鏡である	○	○		◎	○	a: 文構造をおさえ筆者の考えを確認し、自分の意見を出している。 b: 文構造をおさえ筆者の考えを確認し、自分の意見を出している。 d: 取り上げられている具体例を把握しながら通読している。 e: 評論の特色を把握している。	a: 記述の確認 b: 発言内容の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 発言/ノート
	小説	「ゴール」	○			◎	○	a: これまでに読んだ小説を取り上げ、小説を読む楽しさや意義について発言している。 d: 本文全体を読んで、この小説の主題をまとめている。 e: 作者とその文学について理解を深めている。	a: 発言の確認 d・e: ノート確認/定期考査
	小説	「羅生門」	○	○		◎	○	a: 教材に興味を持って接している。/ 「老婆(下人)」の発言を読み取り、自分の意見を持って討論している。 b: 主題について、自分なりに根拠を示して発表している。 d: 「老婆」のその後について想像している。/ 「下人」のその後について想像している。 e: 「羅生門」について、基本的な情報を得ている。	a・b: 行動の観察/発言の確認 c・e: 記述の確認/定期考査
	古文入門	古文に親しむ 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 『徒然草』 「ある人、弓射ることを習ふに」 「奥山に、猫またといふものありて」 文法等…歴史的仮名遣い、文語の動詞の基礎	○			◎	○	a: 古文学習に対する意欲を持つようとしている。 d: 作品を読み、話のおもしろさを理解している。(「児のそら寝」) 良秀の人物像について理解している。(「絵仏師良秀」) どのように「学する」ことが必要か読解している。(「ある人～」) 場面や登場人物の心情を想像しながら読解している。(「奥山に～」) e: 歴史的仮名遣いについて理解している。/古語の意味を理解している。	a: 行動の観察/ 記述の確認 d: 記述の確認/ 定期考査 e: 小テスト/ 定期考査

2学期	小説	清兵衛と瓢箪	○	○	◎		a:現代と時代背景の異なる小説世界を味わおうとしているか。 c:読後感をまとめている。 d:登場人物の心情を叙述に即して理解している。	a:行動の観察 c・d: 記述の確認/定期考査
	評論	水の東西	○	○	◎		a:本文の段落構成を理解して、筆者の主張をつかんでいる。 b:二項対立という論理構造を理解している d:本文全体を読んで、東洋と西洋の「水の捉え方」の違いを理解している。	a,b:発言の確認/記述の確認 d:記述の確認/定期考査
	随想	「待つということ」	○	○	◎		a:身近な話として興味を持って主体的に読んでいる。 b:この随想を読んで感じたことを、自分の言葉で表現している。 d:全体を通読して、現在部分と回想部分からなる三段構成を確認している。	a:発言の確認 b:発言/記述の確認 d:記述の確認/定期考査
2学期	詩や短歌文学を味わう	「詩」 (サーカス) (I was born)	○		◎	○	a:詩のリズムや、使われている語を味わおうとしている。 d:作品世界について自分の意見をまとめている。(「サーカス」) 作品世界が持つ雰囲気をつかみ、自分の意見をまとめている。 (「I was born」) e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。/詩の形態について理解している。	a:行動の観察/記述の確認 d、e: 記述の確認と分析/定期考査
		「短歌」	○		◎	○	a:短歌の概要を理解し、興味を示している。 d:それぞれの歌から情景や心情を読み取っている。 e:句切れのある歌について、それが何句切れか、的確に指摘している。	a:発言の観察/記述の確認 a・d・e:記述の確認/定期考査
	漢文入門	訓読の基本 故事成語「推敲」 「漁夫の利」 句法等…訓点、再読文字	○		◎	○	a:中学校で学習した故事成語に関心を示し、漢文学習に意欲的に取り組もうとしている。 d:漢文の内容を理解し、本文の意図を理解している。 e:それぞれの故事成語について、意味を理解し、日常の言語表現に活かしている。	a:行動の観察/記述の確認 d:記述の確認/定期考査 e:ワーク/行動の観察

	古文の物語を読む	『竹取物語 「かぐや姫の生い立ち」 『伊勢物語』 「茶川」 「筒井筒」 文法等…文語の用言の活用 助動詞の基礎	○			◎	○	a: 文章に描かれている情景や心情に興味を持って理解しようとしている。 d: 文章に描かれている情景や心情を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や心理、状況を捉える手掛かりとしている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。/文学作品のジャンルについて理解し、区別することができる。	a: 行動の観察/ 記述の確認 d: 記述の確認/ 定期考査 e: 小テスト/定期考査
	プレゼンテーション	「本のPOPを作ろう」 「自分の考えを話そう」		○	◎	◎	○	b: 話したり聞いたりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てる。 c: 物語の世界を的確に表現できているか。 d: 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いる。 e: 語句の意味を理解し、語彙を豊かにする。	b, c, d, e: 記述の確認と確認及び分析
3 学 期	評論	「コインは円形か」		○	○	◎		b・c: 筆者の主張する「レトリック感覚」を理解して話し合っている。/文章全体から、筆者の「レトリック感覚」についての主張を理解している。 d: 「多角的なものの味方」について、筆者の主張を踏まえて自分の考えをまとめている。	b・c: 発言/行動の観察/定期考査 d: ノート確認/定期考査
	評論	「なぜ私たちは労働するのか」	○	○	○	◎		a・b: 筆者が考える「労働の本質」とはどのようなものかについて、話し合っている。 a・c: 筆者の主張について、自分自身の意見を書いている。 d: 各段の内容と本文の概略をつかんでいる。	a・b・c: 発言/記述の確認 d: 記述の確認/ 定期考査
	漢文	漢詩 「春暁」 「江雪」	○			◎	○	a: 漢詩の学習に意欲的に取り組もうとしている。 d: 詩の内容や心情を読み取り、状況や心情を理解している。 e: 訓点に従って正確に読むことができる。/それぞれの詩の詩形・対句・押韻を理解している。	a: 行動の観察/ 記述の確認 d: 記述の確認/ 定期考査 e: 小テスト/定期考査

		『論語』『孟子』						○		○	◎	<p>a: 『論語』や孔子の人生に関心を示し、学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>d: 孔子の意図を読み取っている。</p> <p>e: 『論語』を典拠とした成語の意味を理解している。/句法に注意して現代語訳している。</p>	<p>a:行動の観察</p> <p>d,e: 記述の確認/定期考査</p>
	古文	『平家物語』 「木曾の最期」						○		◎	○	<p>a: 軍記物語を興味を持って読もうとしている。</p> <p>d: 死を覚悟した義仲と兼平の心の交流について読み取っている。/死に直面した人間のありさまを読み取っている。</p> <p>e: 敬語についての基礎知識を理解している。/ 『平家物語』のあらましを捉えている。</p>	<p>a:行動の観察/ 記述の確認</p> <p>d:記述の確認/ 定期考査</p> <p>e:記述の確認/ 定期考査</p>

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。